

第2回交流活動案
(於 やよい幼稚園)
2011.6.21 (火)

ねらい	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 泥の感触を楽しみながら、泥団子を作ったり、転がしたりして遊ぶ。 小学生に教えてもらったり、一緒に試したりして遊ぶ。
	小学校	<ul style="list-style-type: none"> 泥団子遊びを通して、互いの願いを実現しようとする楽しさを味わう。 関わり方を考えて園児や児童と接し、仲よく過ごす。

服装・準備	運動のできる服装、名札(左肩にピンで) 帽子(園児：黄、ピンク、児童：赤、白)
その他	雨天の場合は、テラスで実施。(上靴持参)

幼稚園の指導者の関わりと環境構成	活動の流れ	小学校の指導者の関わり
<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場所の土で、泥団子を作る機会を作り、団子作りに興味をもてるようにする。 ○各グループのたらいに泥を入れて用意し、グループで教え合っ て遊べるようにしておく。 	事前	<ul style="list-style-type: none"> ○園児の願いを受けて準備を進められるように声をかける。 (土の用意、作り方の想起、教え方の工夫) ○持参物を用意する。 (砂・土、ビニール袋、記名済み牛乳パック、バケツ、たらい等) ○園児への声かけを考え、練習させておく。
<ul style="list-style-type: none"> ○泥の感触を楽しめるように、指導者も一緒に泥団子作りを楽しむ。 ○子どもの疑問や発見を大切に、興味や関心をもてるようにする。 ○子どものイメージを受け止めたり、必要な物を聞いて新たな材料を提示したりしながら、できた喜びを味わえるようにする。 ○泥団子を転がす活動へとつながることを予想し、子どもたちと一緒にコース作りに取り組めるようにしておく。 ○友だちのよさに気付いたり、それを教えてもらったりする姿を認め、自信をもたせ他児へも友だちのよさを知らせる。 ○児童との関わりがスムーズにできるように見守ったり、援助したりする。 ○以前関わったグループでの活動ができるように、たらいに名札と同じシールを貼り、わかりやすくしておく。 	10:00 1 泥団子遊び <ul style="list-style-type: none"> ・土の感触 ・水の割合 ・崩れる訳 ・適当な土、砂 	<ul style="list-style-type: none"> ○園児が遊んでいるところに自然に入ることができるように、自分のグループの園児がどの辺りで遊んでいるかを伝えておく。 ○自分のグループを見つけることのできない児童には、たらいのシールを目印に探せばよいということを伝える。 ○遊んでいる園児の活動に、あいさつをしながら自然に加わることができるように、声をかける。 ○比較したり紹介したりして、持参した土を利用している児童を評価しながら、活動が活発になるようにする。 ○園児と児童が互いの願い(作り方、遊び方)を伝え合いながら、楽しく活動を展開できるように見守り、必要に応じて援助する。 ○泥団子を転がすコース作りや適当な土探し、さら粉作りなどになりそうな場合には、みんなの願いの実現であるかどうかを様子から確かめたり確認の声かけを行ったりする。
<ul style="list-style-type: none"> ○泥の種類を考えて、たらいに片付けていくように促す。 ○遊びの続きができるように、片付けの場所や片付け方等を丁寧に提示し、みんなで協力し合うよう声をかける。 ○手洗いの仕方を説明し、順番を守るよう見守る。 	10:40 2 片付け <ul style="list-style-type: none"> ・土の仕分け ・保管 ・手洗い (粗洗い、水洗い) 幼稚園教諭主導	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の声かけを合図に、グループごとに力を合わせて片付けができるように、必要に応じて援助する。 ○園児とともに、手早く片付けることができるように、声をかける。
<ul style="list-style-type: none"> ○「ありがとう」「またあそぼうね」など気持ちを言葉で表現できるように援助する。 ○うれしかったことや楽しかったことの思いを引き出し、業間休みや昼休みを利用して、一緒に泥団子作りをすることに期待がもてるようにする。 	10:50 3 振り返り、あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・困ったこと ・楽しかったこと ・もっとしたいこと 小学校教諭主導	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の思いを引き出すことに努め、次回への意欲付けとなるようにする。 ○「ありがとう」「またね」の気持ちが伝わるようにあいさつをさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ○業間休みや昼休みに合わせて、戸外遊びができるようにし、継続して泥団子作りや泥遊びに取り組めるように環境を整える。 	事後	<ul style="list-style-type: none"> ○業間休みや昼休みなどを使って上手に遊びに行けるように、声をかけたり一緒に行ったりする。